

# 海野 隆

## 議会報告

子どもたちの未来に責任を持とう

最新情報はブログ・HP・FB・ツイッターで

海野 阿見 で検索 VOL3-03

### 令和4年第1回阿見町議会定例会／全議案を可決して閉会

3月1日に開会した令和4年第1回阿見町議会定例会は、17日、委員長報告、討論、採決を行い、全議案が可決成立し閉会しました。

一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、水道事業については賛成多数で、介護保険、下水道事業については全会一致で、可決しました。

令和4年度の阿見町予算は、一般会計176億6千2百万円、特別会計96億4千1百万円（国民健康保険48億8千3百万円、介護保険36億7千万円、後期高齢者医療10億8千8百万円）、企業会計44億2百万円（水道事業16億5千2百万円、下水道事業27億5千万円）、合計317億5百万円となります。

私は、概略以下のような賛成討論を行いました。



「本予算は町民生活に密接にかかわり、阿見町の将来の展望を開く、きわめて重要なものです。予算の議決権は議会のみが有する権限であり、この議決なくしては確定せず、

執行することはできません。執行部には、無駄のない効率的な予算の執行を要望し賛成します。」

【※映像は通信料が発生することがあります】



### 二所ノ関部屋がいよいよ阿見町にやって来る！

皆様ご存じのように、第72代横綱稀勢の里の二所ノ関親方が町内に二所ノ関部屋を建設中で、6月5日に部屋開きが予定されています。二所ノ関部屋は昭和10年、当時現役だった第32代横綱玉錦によって興され、後に昭和の大横綱大鵬も所属した相撲界きっての名門です。将来の日本相撲協会理事長も期待される大看板を背負ったこととなります。

新しく出来る稽古場は、土俵を2つ作るとともにビデオカメラを設置し、科学的に分析した稽古が出来るとのことで、画期的な相撲部屋の誕生に期待が膨らみます。

稽古場が完成し新型コロナウイルス感染症の終息後には、稽古見学やちゃんこ鍋試食会など、交流イベントも計画しているそうです。多くの町民の皆様に応援していただきたいと思います。

### 二所ノ関部屋連携事業（以下）として580万円の予算を計上しました

- ◆JR荒川沖駅やひたち野うしく駅への横断幕。
- ◆講演会や見学バスツアー、保育所への力士訪問、相撲イベント、ちゃんこ鍋等の企画。
- ◆地元農産物や特産品の差し入れ等。

# 阿見町「申請書類の押印廃止」 ／やっと実現出来ました



**4月1日から、簡素化及び町民の利便性向上のために、町民等に求めている押印が廃止（見直し）になります。**

見直し内容は、窓口で町民等に求めていた例規に記載されている1220様式のうち1029様式（84％）の「押印を廃止」、また、例規に記載されていない261様式のうち168様式（64％）についても「押印を廃止」します。今後も、さらに検討し、順次廃止する方向で進めていきます。

20年（令和2年）9月の一般質問で、私は、以下のような質問をしました。

## 【質問】

役場職員の在宅勤務の実施で感染防止と業務継続を図った成果と今後の課題について及び役場内の決裁及び町民窓口でのハンコ文化の廃止について

## 【答弁】

町民窓口でのハンコ文化の廃止についてであります。行政手続における押印を廃止することは、行政サービスの利便性の向上に資するものであります。押印の必要性を精査し、真に必要な場合を除き廃止するよう、順次対応してまいります。

阿見町は、一般質問の翌年、21年（令和3年）6月に「阿見町における申請書等の押印見直しに係る方針」を策定し、その方針に基づいて見直しを進めて来ました。

**少し時間がかかりましたが、町民にとって必要な政策提言は必ず実現します。**

# 大きく賛否が分かれた2議案について解説します



採択及び賛成	不採択及び反対
吉田憲市、久保谷実、紙井和美、難波千香子、川畑秀慈、平岡博、海野隆、永井義一、野口雅弘、樋口達哉、石引大介、栗田敏昌	柴原成一、飯野良治、栗原宜行、高野好央、落合剛

※議長は可否同数の時以外には採決に加わりません

今議会で大きく賛否が割れた下記の2つの議案について解説します。

■**中華人民共和国新疆（しんきょう）ウイグル自治区での人権侵害に関して、被収容者の釈放や人権侵害を終わらせるための有効な手段をとるよう国連諸機関へ働きかけを求める意見書提出を求める請願**

※賛成者の意見は「世界の主要国及び国連、アムネスティなど人権NGOが中国・新疆ウイグル自治区での過酷な人権侵害、迫害を危惧しており請願を採択すべきものだ」としました。反対者は「国連の調査を見守るべきだ」というもの。

■**地区公民館（実穀公民館）整備事業（補正予算）令和3年度補正予算。旧実穀小学校を、地元の要望を受けて地域コミュニティや防災の拠点として整備するもの。**

※賛成者の意見は「廃校となった地元要望を受け、長い時間をかけて検討を重ねて計画が進んだもので、議会にも丁寧に説明している。より有利な補助金の獲得も出来た。早急に進めるべきだ」というもの。反対者は「旧学校敷地の所有者全員に意向確認しないで工事を進めることには反対だ」というもの。

〒300-1152 阿見町荒川本郷 1343 番地 197

携帯： 090-1548-5294

Email : sougousenryaku@gmail.com